日立電気温水器　【スタンダードマイコンタイプ】
工事説明書　　【スタンダードタイプ】

1. 適用機種および仕様

据付場所	形　式	タイプ	貯湯量	満水時質量	ヒーター容量	ドレンパン
屋外・屋内兼用	BE-L30E	スタンダードマイコン	300L	約 343kg	3.4kW	不付
	BE-L37E		370L	約 419kg	4.4kW	
	BE-L46E		460L	約 515kg	5.4kW	
	BE-S30E	スタンダード	300L	約 343kg	3.4kW	
	BE-S37E		370L	約 419kg	4.4kW	
	BE-S46E		460L	約 515kg	5.4kW	
集合住宅用	BE-L30EM	スタンダードマイコン	300L	約 345kg	3.4kW	付
	BE-L37EM		370L	約 421kg	4.4kW	
	BE-S30EM	スタンダード	300L	約 345kg	3.4kW	
	BE-S37EM		370L	約 421kg	4.4kW	

安全上のご注意

⚠ 警告

「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

- アース工事(D 種接地工事)を必ず行う。
  工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規定」に従って、電気工事士が行う。
  (感電、故障の原因になります。)
- 機器の近くにガス類や引火物を置かないでください。
  (発火の原因になることがあります。)
- 漏電遮断器の動作を確認してください。
  (万一の不動作で、感電、故障の原因になります。)
- 深夜電力契約の場合は昼間用電源に漏電遮断器を必ず取り付けてください。
  (万一の不動作で、感電、故障の原因になります。)
- 減圧弁、逃し弁、安全弁は、必ず取り付けてください。(純正部品を使用してください。)
  取り付けないとタンクが破損するおそれがあります。
- シャワー給湯には、必ずサーモスタット付混合水栓(逆止弁付)を使用してください。
  万一の機器の故障時に、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- 防水処理、排水処理をしていない床面に設置しないでください。
  水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。
- 凍結防止対策を行ってください。
  (凍結による故障の原因になります。)
- 電気温水器本体の脚３か所を必ずアンカーボルトで固定してください。また、２階以上に設置する場合は、天部を上部固定金具で固定する。
  (地震などにより、転倒してけがをするおそれがあります。)
- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。
  また、塩分、石灰分、その他不純物が使用水に含まれていたり、酸性水質の地域では電気温水器の使用を避けてください。特に、井戸水、地下水、温泉水では機器の故障のおそれがありますので使用できません。
- 以下の場所には設置しないでください。
  ・塩害地（海浜地区で潮風が直接あたる場所）
  ・最低気温が－１０℃以下となる場所

2. 据付および付帯工事をされる方へ

●この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●据付工事後は、本書を保証書、取扱説明書とともにお客様にお渡しし、保管していただくよう依頼してください。
また、最寄の電力会社の営業所に【電気温水器据え付け完了】の連絡をしてください。
●電気温水器の関連部品については、日立純正品を使用してください。
●浴室では、やけど防止のため、サーモスタット付混合水栓（逆止弁付）を必ず使用してください。
●混合水栓には必ず逆止弁付混合水栓を使用してください。逆止弁の付いていない混合水栓を使用した場合や、混合水栓が故障した場合は、沸き上げ中以外に逃し弁より排水される場合があります。
●ガス機器から電気温水器へ変更する際は、事前にガス事業者への連絡が必要になります。
ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは、法令により規制されておりますのでご注意ください。
●本記載事項を守らなかったために発生した不具合については、保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

【お願い】
・製品本体は吊り上げないでください。
・製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
・メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。

3. 関連部品

部　品　名	必　要　数	形　式
減圧弁(セット圧 80kPa)	いずれか　1(※1)	RJ2004ZZ-800/ RJT2004ZZ-80
減圧弁(寒冷地用)（セット圧 80kPa)		RJ2004MZ-800/ RJT2004MZ-80
逃し弁(セット圧 95kPa)	いずれか　1(※2)	SD12S-800/ SDT12S-80
逃し弁(負圧防止装置付)（セット圧 97kPa)		SD2023ZZ-800/ SDT2023ZZ-80
安全弁(セット圧 120kPa)	1	SD11S2-001/ SDT11S2-001
絶縁パイプ(給水、給湯用)20A 0.5m	2(※3)	ZP-3S/ ZPT-3S
オートベント	いずれか　1また2 (※3)	AV-20A/ AVT-20A
オートベント(保温材付き)		AV-20AZ/ AVT-20AZ
アース棒	1(※3)	BEA-1/ BEAT-1
ホッパー	2	HOP-1/ HOPT-1
給湯加圧ポンプ	必要に応じ　1	H-PB40FW

(※1)　寒冷地では、寒冷地用の減圧止弁をご使用ください。
(※2)　階上・階下給湯の場合は必ず逃し弁（負圧防止装置付）をご使用ください。
(※3)　「絶縁パイプ」「オートベント」「アース棒」は、取り付けをおすすめする部品です。

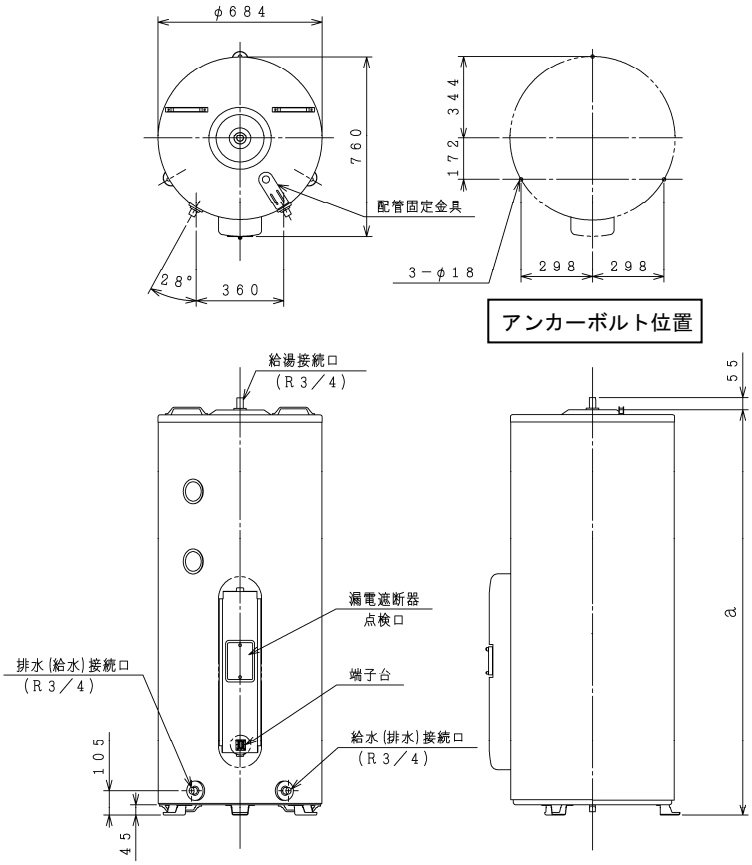
4. 同梱付属品

本体には、下記の部品・付属品が同梱されていますのでご確認ください。

●保証書×１
●取扱説明書×１
●工事説明書（本書）×１
●アンカーボルト施工型紙×1
●配管固定金具×１

5. 製品外観図

5-1 屋外･屋内兼用



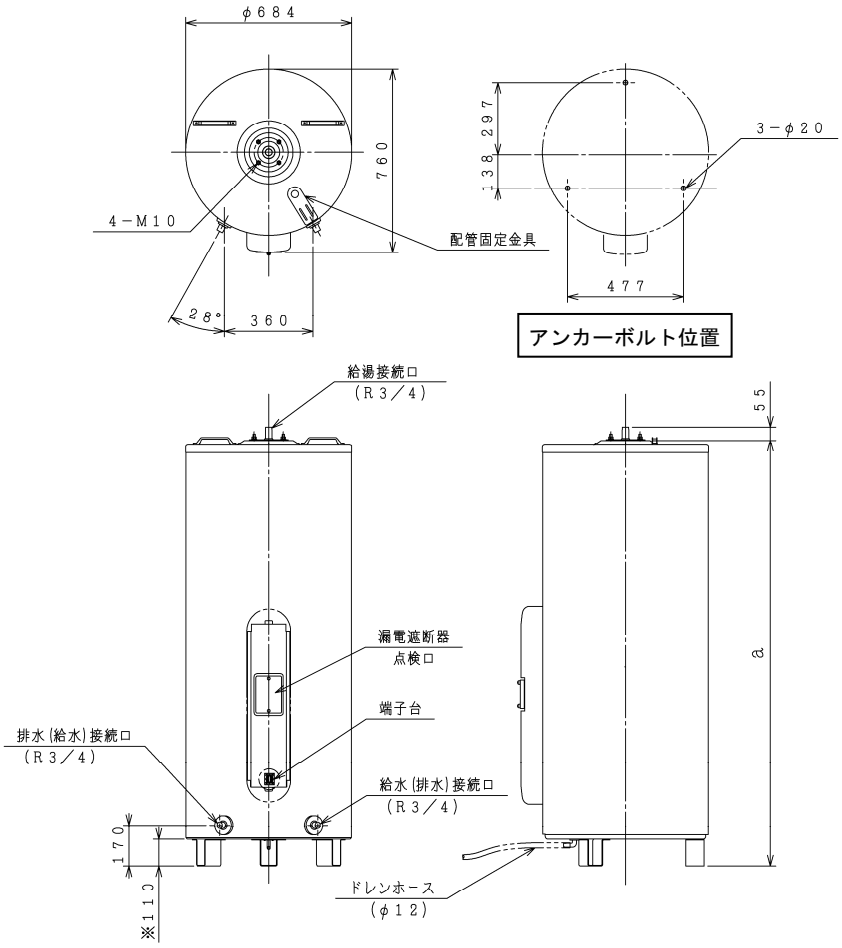
電気温水器の据付制約

形 式	a
BE-L30E BE-S30E	1362
BE-L37E BE-S37E	1619
BE-L46E BE-S46E	1949

お知らせ

・左図の「アンカーボルト位置」は日立標準(工場出荷時)寸法です。
・屋外･屋内兼用のユニットでは脚を外側に引き出し、アンカーボルト位置を変更することが可能です。(5-3項(P4)参照)

5-2 集合住宅用



電気温水器の据付制約

形 式	a
BE-L30EM BE-S30EM	1427
BE-L37EM BE-S37EM	1684

お知らせ

※110 寸法は高さ 150,190 も受注対応致します。

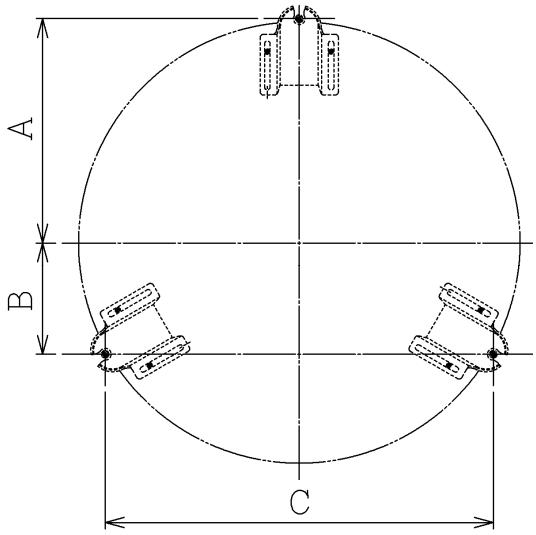
5-3 アンカーボルト位置の変更（屋外･屋内兼用のみ）

(1) 対応可能なアンカーボルト位置寸法

●対応可能なアンカーボルトの位置は下表に示す範囲です。

●工場出荷時は下表の「日立」のアンカー位置に固定されています。

アンカー位置	寸法 (mm)			刻印位置
	A	B	C	
最小	332	166	575	ー
日立	344	172	596	①
M-1	352	176	610	②
T-1	357	179	618	③
M-2	382	191	662	④
T-2	392	196	679	⑤
最大	399	199	690	ー



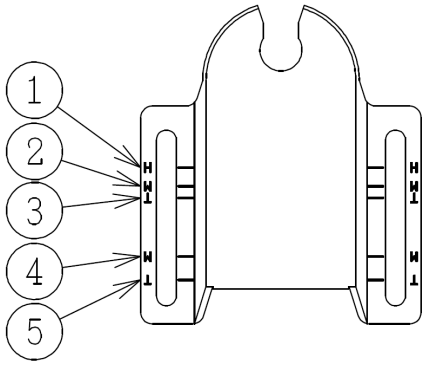
(2) アンカーボルト位置の変更手順

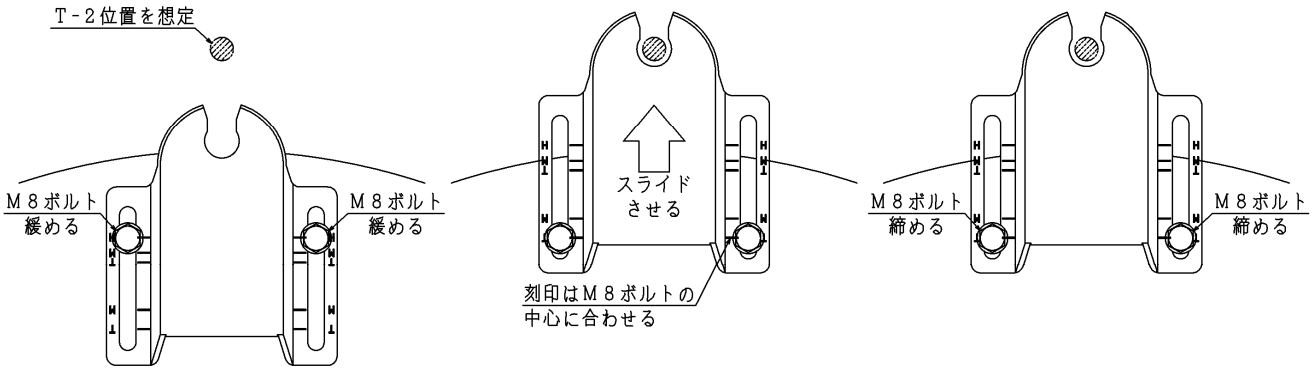
●アンカーボルト位置を変更するには、3か所ある脚それぞれについて、(1)固定しているＭ８のボルトを緩め、(2)所定の位置に引き出し、(3)再度固定します。

●３か所ある脚は、均等な長さに引き出してください。

●上表を参照してアンカーボルト位置を変更する場合、それぞれの脚において、右図①～⑤のうち同じ番号の刻印線とＭ８ボルトの中心位置とを合わせて固定することで、表に示すアンカーボルト位置寸法に合わせることができます。

●下図に、アンカー位置Ｔ-２を想定して変更する場合の要領を示します。このとき刻印位置は⑤の位置に合わせます。





(1) M8ボルト2本を緩める　(2) 脚をスライドさせる　(3) M8ボルト2本を締める

※刻印を利用して位置を決定する場合は、刻印線をM8のボルトの中心位置に合わせます。

※ボルトの締め忘れ、および過剰なトルクでの締めすぎに注意してください。

※ユニットを横にしてアシの位置を変更する場合は二人以上で作業を行い、外板の傷つき、変形等を発生させないよう、十分注意してください。

6. 据付工事

6-1 据付場所の選定

●電気温水器と建物のすきま寸法は、各都市の火災予防条例に従って設置してください。

●保守点検に必要なスペースは必ず確保してください。また電気温水器が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。

●電気温水器の設置場所は、配管材料を少なくし放熱ロスを少なくするため、できるだけ給湯場所に近いところへ据え付けてください。

●排水設備のある場所に設置してください。
電気温水器の設置床面は、万一水が漏れても支障のないように防水、排水処理された場所に据え付けてください。

●電気温水器は高温水を貯湯していますので放熱があります。室内に据え付ける場合は、密閉室にならないよう通気口・換気扇を設け、熱がこもらないようにしてください。

●浴室など湿気の多いところには設置しないでください。

●周囲温度が－10℃以下となる場所に設置しないでください。

●塩害を受けやすい地区では、電気温水器周辺の雨覆い、風覆いを行ってください。

●雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるような場所、積雪で埋もれるような場所には設置しないでください。

●集合住宅等には、集合住宅用製品を設置してください。

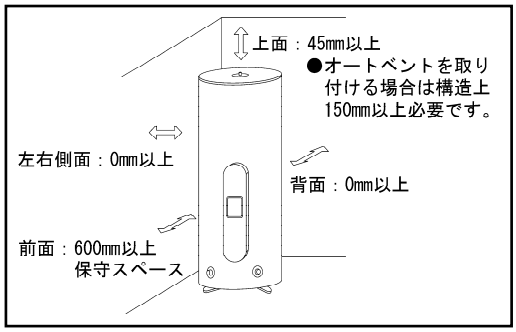
●階下給湯は、電気温水器本体設置面より下方 3.5m以内としてください。(7-4 特殊配管工事)
階下給湯の場合は負圧防止装置付逃し弁(SD2023ZZ-800/ SDT2023ZZ-80)を必ず取り付けてください。

●電気温水器は、水平な設置面に垂直に立てて据え付けてください。(傾斜許容限界 2/100)

●基礎のしっかりした場所を選んでください。タンク満水時には電気温水器が非常に重くなります。
コンクリートなどの基礎のしっかりした、重さを支え得る場所を選んでください。

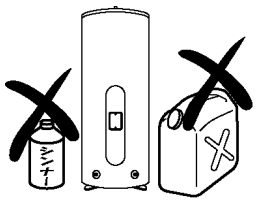
●不燃性の床上、あるいは台上に設置してください。

電気温水器の据付制約



⚠警告

電気温水器は、
ガスや引火物の
近くに設置しない



屋外・屋内兼用製品を設置する場合のご注意

●この電気温水器は通常の雨水に対する配慮がなされておりますので屋外に設置することが可能です。ただし、次のような場所には設置しないでください。
・電気温水器が積雪で埋もれる場所
・雨水が集中して落下する場所
・水はけが悪く電気温水器の底面が水没する場所
・海岸の近くで潮風の影響を受ける場所

●集合住宅等の設置はできません。

集合住宅用製品を設置する場合のご注意

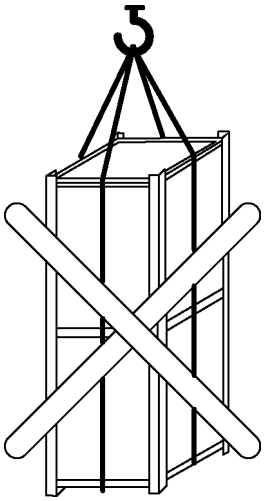
●この電気温水器は屋内に設置してください。

●ベランダ等に設置する場合は、雨覆いを設けて雨雪が直接製品に当たらないようにしてください。

●必ず給湯を使用する階と同じ階に電気温水器を設置してください。

●集合住宅に設置する場合、必ず集合住宅用製品を据え付けてください。
(万一、タンク内の水漏れが生じた場合にドレンパンに接続したドレンホースより外の排水管へ逃します。)

6-2　搬 入



●開梱は設置場所近くで行ってください。

●製品を吊り上げないでください。木枠の釘抜け等により木枠が破損し、
電気温水器が破損するおそれがあります。製品を２階以上へ運搬する場合は、
エレベータやロングリフト等に乗せて、転倒しないように実施してください。

●開梱後の運搬は２人以上で行ってください。

・電気温水器上面に設けてある取手と電気温水器下面の脚を使用してください。

・本体の給湯パイプ・給水パイプ・排水パイプは持たないでください。
変形破損等のおそれがあります。

●製品質量が大きいため、運搬の際は製品の落下、転倒などによりけがをしないように十分注意してください。

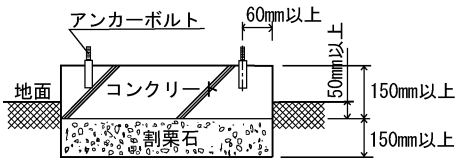
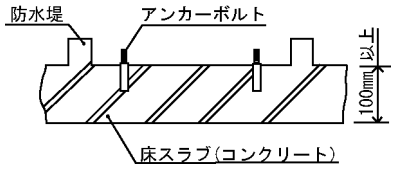
●製品を横にしたままで、直接地面や物の上に置かないでください。

●電気温水器の天板中央部にゴムブッシュが挿入されています。
ゴムブッシュが浮いていないことを確認してください。
浮いている場合は挿入してください。

6-3　基礎工事

●電気温水器の満水時の質量に耐える場所の選定および基礎工事をしてください。

●電気温水器を屋内またはベランダに据え付ける場合は、必ず完全な防水、排水工事を行ってください。

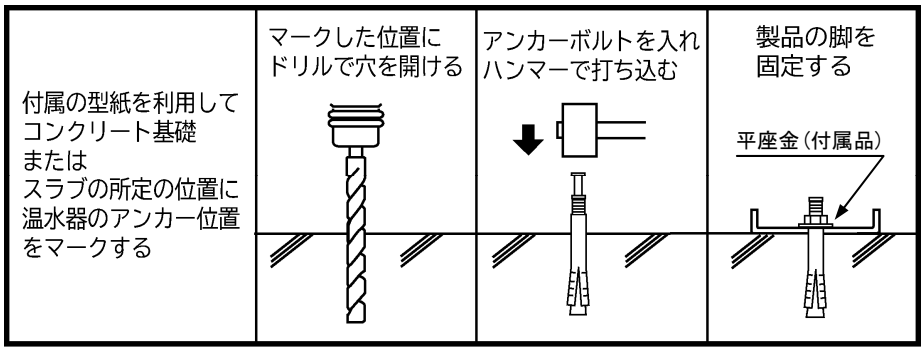
建物の固定部の材質	図　　解	注　意　事　項
コンクリート基礎 （屋　外）		・コンクリートの圧縮強度は 18.0MPa 以上
コンクリートスラブ コンクリート壁など （屋　内）		・コンクリートの圧縮強度は 18.0MPa 以上 ・防水堤工事を行う 防水堤は、アンカーボルトの固定、取り外しの際および配管引き回しの障害にならないよう電気温水器との隙間を十分設ける ・防水処理を行う

6-4 電気温水器の固定

●電気温水器の脚は地震時などの転倒防止のため、**脚３か所を必ずアンカーボルトで固定**してください。
●屋内・屋外兼用品の場合はM10またはM12、集合住宅用の場合はM12を使用してください。
●アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。（芯棒打ち込み式アンカーボルトの場合）

呼び径	ドリル径（mm）	埋込み深さ（mm）	アンカーボルト引き抜き力(N)
M10	10.5	45	3800Ｎ以上
M12	12.7	60	6700Ｎ以上

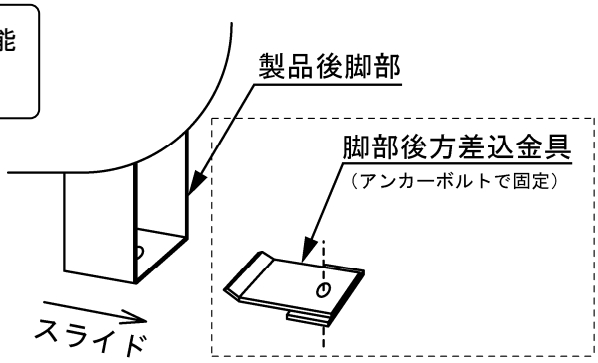
●アンカーボルトの施工例は下図を参照してください。



6-5 脚部後方差込金具（BEM-1S/BEMT-1S）の取り付け

BEM-1S/ BEMT-1S は集合住宅用製品にのみ取り付け可能です。屋外･屋内兼用製品には取り付けできません。

●集合住宅用製品において、後脚部のアンカーボルトが施工できない場合には、別売の「脚部後方差込金具」を使用して電気温水器を固定してください。
●脚部後方差込金具を固定するアンカーボルトの位置は製品付属の型紙に示してあります。

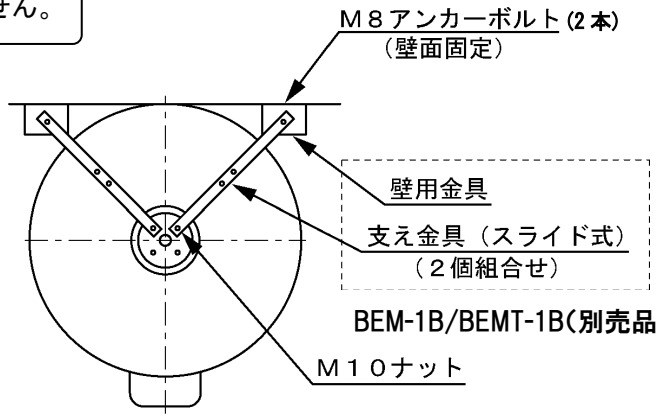


BEM-1S/BEMT-1S（別売品）

6-6 上部金具固定セット（BEM-1B/ BEMT-1B）の取り付け（集合住宅用のみ）

BEM-1B/ BEMT-1B は集合住宅用製品にのみ取り付け可能です。屋外･屋内兼用製品には取り付けできません。

●集合住宅用製品において、脚部後方差込金具でも固定できない場合には前方２か所の脚と製品上部を固定してください。集合住宅用製品上部を固定する際は、別売の「上部固定金具セット」を使用して強固な壁（引張荷重5900N以上に耐える壁）に固定してください。



BEM-1B/BEMT-1B（別売品）

呼び径	ドリル径（mm）	埋込み深さ（mm）	アンカーボルト引き抜き力(N)
M8	8.5	40	2950Ｎ以上

7. 配管工事

7-1 配管工事注意事項

●配管工事は給水装置工事主任技術者または給水装置工事配管技能者の資格がある方が行ってください。

●水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。

●塩分・石灰分・イオウ分、その他の不純物を多く含有する水や、純水、イオン交換水、井戸水は給水しないでください。

●配管工事用部品はシステムに適合した指定の別売品を使用してください。

●配管を施工する前に配管内のごみは、きれいに清掃し電気温水器内にごみが入らないようにしてください。

●電気温水器の給水側には必ず電気温水器専用止水栓を取り付けてください。

●付属の配管固定金具は、給水側の立ち上げ配管の振れ止めのために天板にねじ止めして使用します。
配管の重さが固定金具に直接かからないように支持してください。

●給水・給湯・排水配管の配管接続作業は、必ずダブルスパナで行い、電気温水器に無理な力がかからないよう十分注意してください。

●配管用シール剤によっては揮発性ガスによりゴムなどを傷めることがあります。特に引火性のものは使用しないでください。シール剤を使用後は十分乾かせてください。

●凍結防止のため配管の保温を必ず確実に行ってください。

●シャワー給湯栓は必ずサーモスタット付混合水栓(逆止弁付)を、その他の混合水栓も必ず逆止弁付混合水栓を取り付けてください。なお、シャワー給湯栓は構造により出湯量が極端に少ない場合がありますので、最低必要圧力、シャワーヘッドの仕様を確認して選定してください。

●１階に電気温水器を設置し２階へのシャワー給湯をする場合、別売の給湯加圧ポンプを使用しないと出湯量が
不足しますので、注意してください。給湯加圧ポンプを使用する場合は、「7-4 特殊配管工事」の注意事項にしたがってください。

●２階等に設置して階下に給湯する場合は「7-4 特殊配管工事」の注意事項にしたがってください。ただし階下への給湯は、電気温水器本体設置面より下方 3.5m以内としてください。

●逃し弁、安全弁の逃し管は、1/200 以上の先下り勾配としてください。

●タンク排水管の下には必ず排水ホッパーを設けてください。
集合住宅用製品では、ドレンパン下部のドレンホースをタンク排水管または排水ホッパーに必ず配管してください。
必ずタンク排水管とホッパーとの間に 50mm 以上の空間を設け、排水管の排水が凍結した場合でも、タンク排水管を閉塞しないようにしてください。
(タンク排水(膨張水の排水)管が閉塞すると、逃し弁が動作してもタンクが破損することがあります。)

●排水配管には必ず排水トラップを設置してください。排水トラップがないと下水ガスが逆流して電気温水器が腐食します。

●集合住宅に設置する場合の排水管施工については、建築基準にしたがってください。

●全自動洗濯機に直接給湯配管することはできません。

●太陽熱電気温水器のお湯を給水管に接続しないでください。

7-2 使用部材

●逃し弁、減圧弁等は、日立純正部品を使用してください。
（日立純正部品以外の部品を使用して、万一故障や事故が発生しても当社は責任を負いません。）

●給水・給湯・排水配管は、耐食性、耐久性、耐熱性の優れた材料を使用してください。
（当該水道局で材質が指定される場合は、これに従ってください。）

●一般的には銅管を使用します。配管継手は銅または、銅合金継手を使用してください。

●機外の給水・給湯配管は耐震性を考慮して、建物の固定配管（給水・給湯管）との接続部にフレキシブル配管を使用することをおすすめします。

場所	使用配管材	配管ｻｲｽﾞ	絶縁ﾊﾟｲﾌﾟ	施工上の注意
給水配管	耐食性を有するもの（銅管・水道用ライニング鋼管・水道用硬質塩ビ管）	20A (3/4B)	20A、0.5m ZP-3S	●点検などで排水するときに必要な電気温水器専用止水栓を取り付けてください。 ●給水接続口には絶縁パイプの取り付けをおすすめします。 ●太陽熱電気温水器のお湯は接続しないでください。
給湯配管	90℃以上の耐熱・耐食性を有するもの（銅管・耐熱性硬質塩ビ管・架橋ポリエチレン管）	20A (3/4B)	20A、0.5m ZP-3S	●給湯接続口には絶縁パイプの取り付けをおすすめします。 ●階下への給湯は、電気温水器本体設置面より－3.5m以内です。
タンク排水管	90℃以上の耐熱・耐食性を有するもの（銅管・耐熱性硬質塩ビ管）	φ16 以上	不要	●タンク排水口の下に、口径φ80以上の排水ホッパーや排水トラップ、およびφ50以上の排水管を設けてください。 ●沸き上げ中にタンク排水口より少量のお湯(逃し弁からの膨張水)ができますので、必ず排水工事を行ってください。 ●配管サイズは必ずφ16以上としてください。 ●フレキ管は使用しないでください。流れが悪くなり逆流します。

7-3 配管工事

●給水元圧は 0.15MPa 以上必要です。

●給湯・給水・排水配管を行ってください。給湯・給水配管には絶縁パイプの使用をおすすめします。
オートベントを取り付けた場合は、オートベントにビニールホース(現地準備品)を取り付け、排水口へ導いてください。
集合住宅用では、ドレンホースを取り付け、排水口に導いてください。
また、各ホースの先端と排水口との間に 50mm 以上の空間を設けてください。

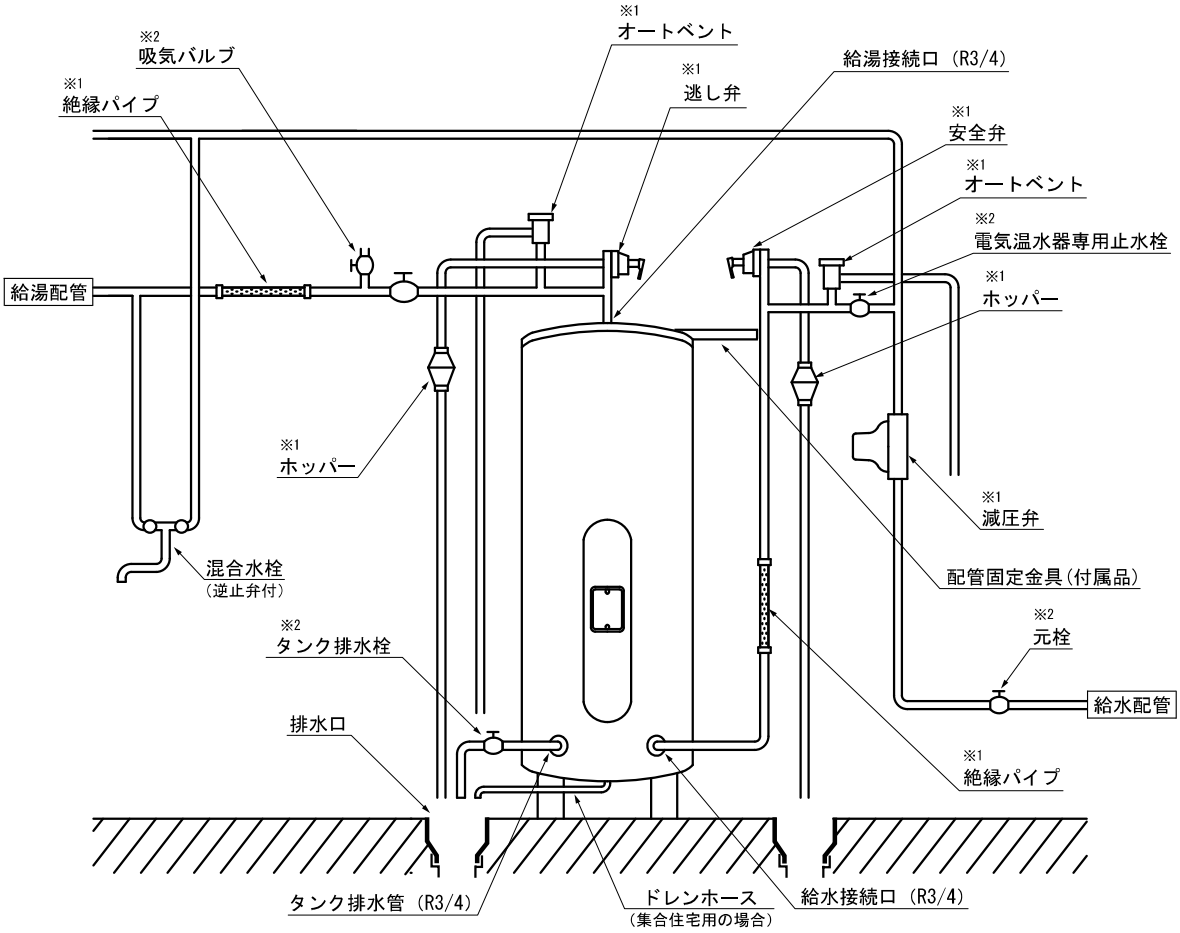
●すべての混合水栓は必ず逆止弁付混合水栓を取り付けてください。

●減圧弁には逆止弁が内蔵されています。必ず水の流れと矢印の向きを合わせてください。

●減圧弁は必ず電気温水器の底部より高い位置で、且つ、逃し弁より低い位置に取り付けてください。

■ 標準配管例

※1 純正部品を使用してください。(電気温水器には付属していません)
※2 現地にて準備してください。



■ 排水配管には必ず排水トラップを設置してください。

排水トラップがないと浄化槽などから下水ガスが逆流して、電気温水器が著しく腐食し、故障の原因になります。

○ 正しい施工例

排水トラップがあるので下水ガスが逆流しません。

排水トラップ

電気温水器の膨張水により封水されます。

浄化槽などからの下水ガス

排水管

排水ます

× 誤った施工例

排水トラップがないので下水ガスが逆流し、電気温水器が腐食します。

浄化槽などからの下水ガス

排水管

排水ます

7-4 特殊配管工事

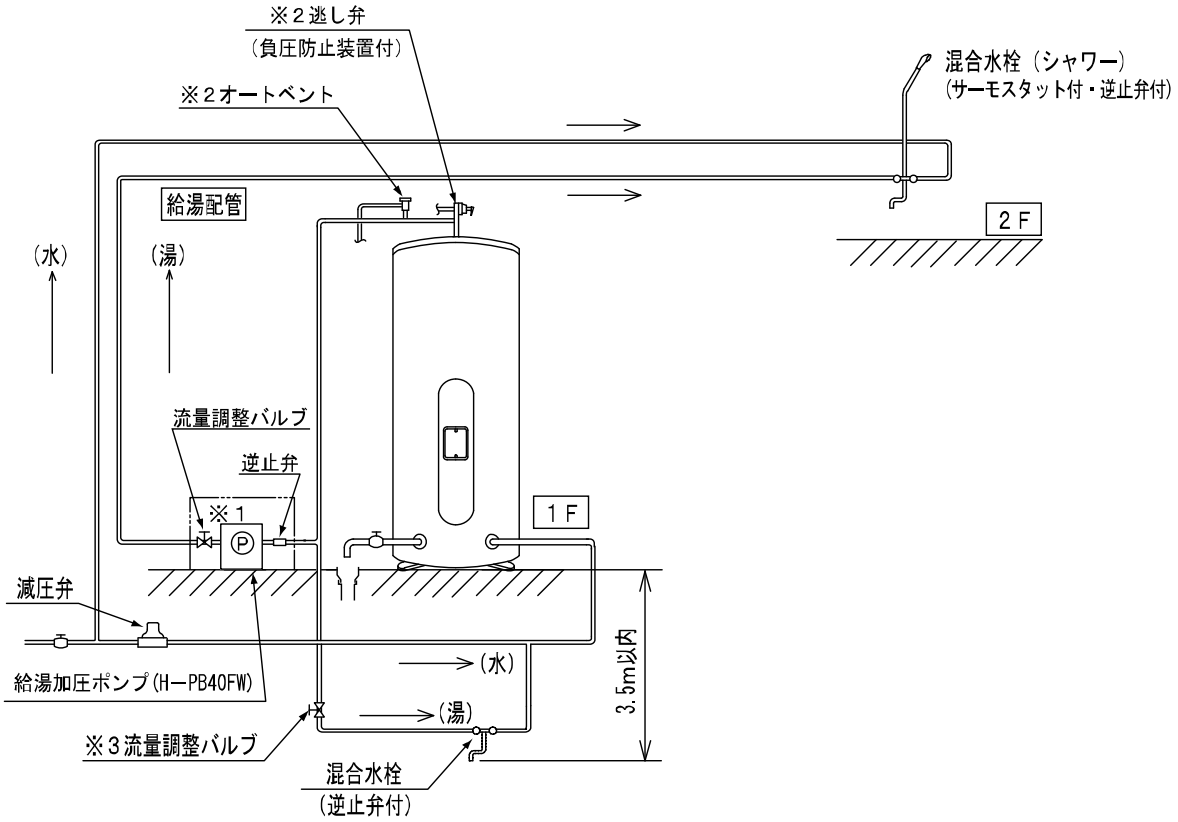
(1)階上給湯の場合

●２階へシャワー給湯をする場合は別売品の給湯加圧ポンプ(H-PB40FW)を取り付けてください。
●すべての混合水栓は必ず逆止弁付混合水栓を取り付けてください。
※１ 給湯加圧ポンプ取り付け時は、流量調整弁、逆止弁を図の位置に組み込んでください。
※２ 給湯接続口の近く(給湯加圧ポンプよりタンクに近い側)に必ずオートベントおよび負圧防止装置付逃し弁を取り付けてください。

(2)階下給湯の場合

●給湯配管は電気温水器本体設置面より下方 3.5m 以内としてください。
●電気温水器最上部に必ずオートベント(AV-20A/AVT-20A、AV-20AZ/ AVT-20AZ)を取り付けてください。
●必ず負圧防止装置付逃し弁(SD2023ZZ-800/ SDT2023ZZ-80)を取り付けてください。
※２ 給湯接続口の近くに必ずオートベントおよび負圧防止装置付逃し弁を取り付けてください。
※３ 給湯配管の途中に流量調節バルブを取り付けてください。

■ 特殊配管例



7-5 凍結防止工事

・保温工事がしてあっても周囲温度が０℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破裂する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

・凍結事故を防ぐために地域の実情に合った凍結防止対策を必ず行い、ご使用になるお客様に凍結防止上の操作手順を十分に説明してください。

①凍結防止ヒーターを巻く方法

●配管の水漏れがないか確認して、凍結防止工事を行ってください。

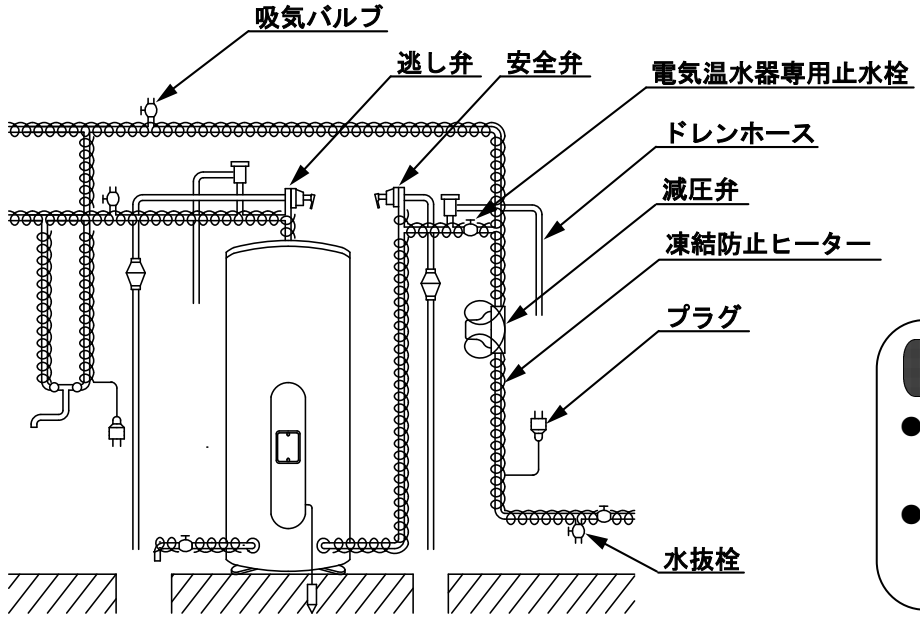
●凍結のおそれのある配管部分（給水配管、給湯配管、排水配管、電気温水器専用止水栓等）すべてに凍結防止ヒーターを均一に巻いてください。

●凍結防止ヒーターは配管に直接取り付け、その上に保温材を巻いてください。

●凍結防止ヒーターは何本も使用します。使用数に応じて適当な位置にコンセントを設けてください。

●コンセントはヒーターコードの出口より高い位置に取り付けてください。低いと雨や水がコードをつたわりコンセントにかかるおそれがあります。

■　凍結防止ヒーター施工例



お願い

●凍結防止ヒーターの施工はヒーター同梱の説明書に従ってください。

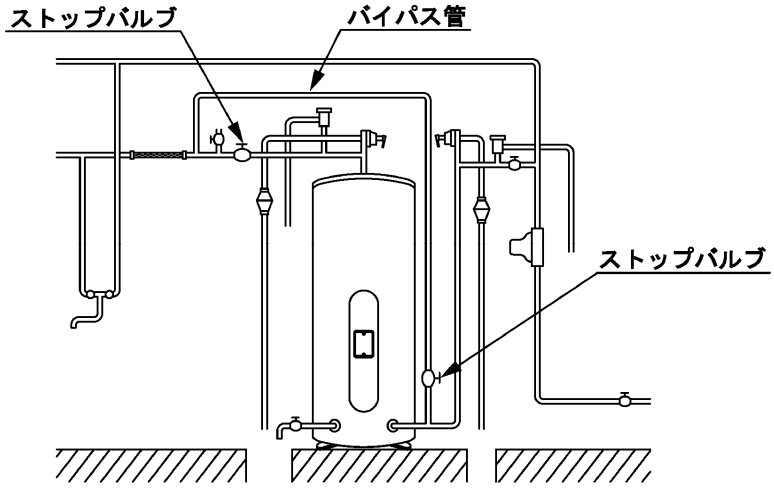
●凍結防止ヒーターの取扱方法、操作方法をお客様に十分説明してください。

②水を少量流し続ける方法

●各混合水栓から「糸引き」状態に少し水を流し続けて凍結を防止する方法です。

※混合水栓から電気温水器内のお湯が流れ出てしまわないようにバイパス管とストップバルブを取り付けてください。

■　バイパス管・ストップバルブ配管例



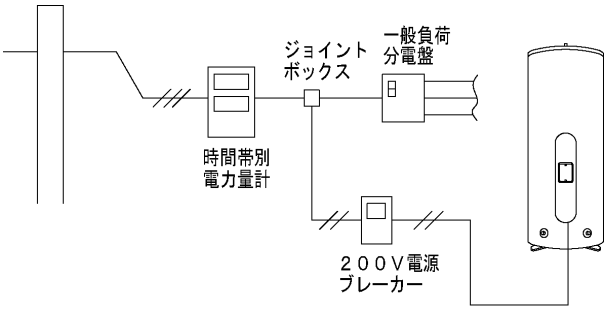
8. 電気配線工事

●電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、指定工事業者が行ってください。
●ブレーカーの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。
●電力契約は必ず「※時間帯別電灯契約」または「深夜電力契約」としてください。各契約の詳細については所轄の電力会社にお問合せください。
※「時間帯別電灯契約」はスタンダードマイコンタイプのみ適用可能です。
※スタンダードマイコンタイプを「時間帯別電灯契約」で使用される場合は、別売リモコン(BER-3A/BERT-3A)が必要です。
●タンクを満水にしたこと、各止水栓が開いていることを確認してから電源を入れてください。
●保護アース(接地)工事は万一の感電事故防止のため、電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき、電気工事士によるＤ種接地工事を行ってください。

8-1 引込配線工事

■引き込み口から電気温水器までの回路は以下です。

時間帯別電灯で使用する場合

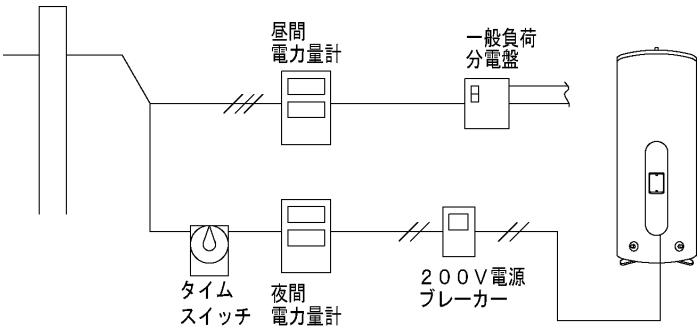


：単相３線　　：単相２線

お願い

●電気温水器用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。

深夜電力で使用する場合



■ブレーカーの定格とケーブルの太さ

形式	ヒーター容量	定　格　電　圧	ブレーカー定格	ケーブルの太さ
BE-L30E	3.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-L30EM	3.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-L37E	4.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-L37EM	4.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-L46E	5.4kW	単相 200V	40A	8.0mm²(φ3.2)
BE-S30E	3.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-S30EM	3.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-S37E	4.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-S37EM	4.4kW	単相 200V	30A	5.5mm²(φ2.6)
BE-S46E	5.4kW	単相 200V	40A	8.0mm²(φ3.2)

8-2 電気温水器内部配線工事

機種により内部配線は異なります。下図にしたがって行ってください。

●各コードは必要以上にたるませないでください。特にヒーターやタンクに触れないよう確実に離して固定してください。

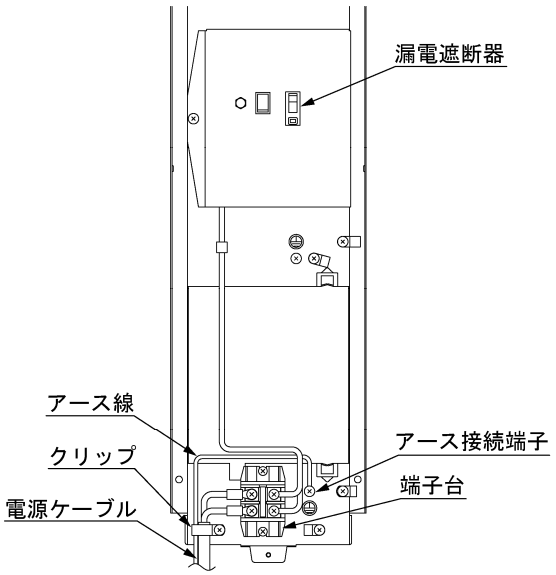
●電気工事の際、電源配線、アース接続以外の必要のないところには手を触れないでください。

●200V 電源は、クリップ（製品付属）で固定してください。

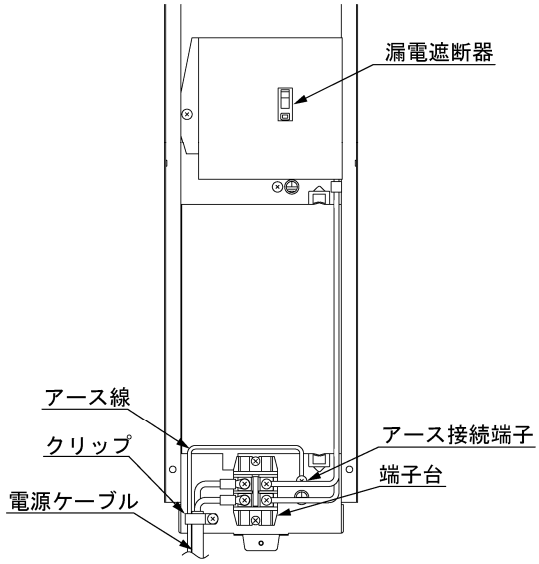
●電源コードは電気温水器内で丸めないでください。

■ 配線方法

スタンダードマイコンタイプ



スタンダードタイプ



ご注意

●電気配線が終了しても、電気温水器のタンク内が満水状態でない場合は電源スイッチを絶対に「入(ON)」にしないでください。水のない状態で電源を投入するとヒーターが焼損する場合があります。

8-3 アース(接地)工事

●感電事故防止のため電気設備基準および内線規程に基づきD種接地工事を行ってください。

●水道管、ガス管への接地及び他器具類用アースとの共用はしないでください

●集合住宅の場合は住宅専用のアース端子に接続してください。

①アース棒、アース線(緑色)をハンダ付けで確実に接続し、接触抵抗の変化がないように絶縁テープを巻付けます。

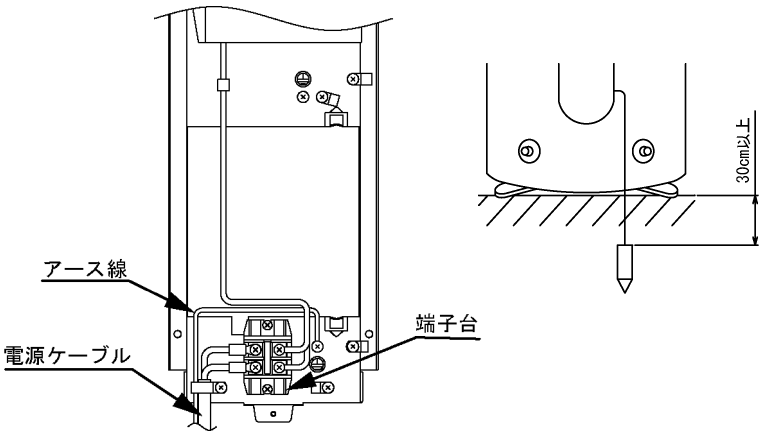
②アース線を電源コード取り出し口から本体内に通し保護アースに接続します。

③アース棒を地中深さ 30cm 以上の深さに打ち込みます。

■アース線

ヒーター容量	アース線(緑色)
3.4kW、4.4kW	銅線φ1.6 または 2mm² 以上
5.4kW	銅線φ2.0 または 3.5mm² 以上

⚠ 警告	**アース工事（接地工事）は必ずD種接地工事を行う。**



9. 試運転

据付工事および付帯工事が完了しましたら、試運転を行ってください。

●深夜電力契約の場合は、電力会社の了解を得てタイムスイッチを通電状態にしてください。

●別売リモコン(BER-3A/ BERT-3A)を接続して運転される場合には、BER-3A/ BERT-3A 付属の取付要領書を参照してください。

9-1 タンクを満水にする

①すべての混合水栓が閉じていることを確認してください。

②電気温水器の排水栓、水抜き栓を閉じてください。

③逃し弁のレバーを開いてください。

④水道の元栓と電気温水器専用止水栓を開いてタンクに水を入れます。
タンクが満水になると、排水管から水が出ます。満水までの所要時間は 30～50 分です。

⑤満水になったら逃し弁のレバーを閉じてください。
水道の元栓、電気温水器専用止水栓は開いたままにしてください。

●配管接続の各部分および逃し弁、安全弁、オートベント、減圧弁から水漏れがないか十分点検してください。

9-2 電源を入れる

①200V の元電源ブレーカーを「入(ON)」にします。

②漏電遮断器の動作確認を行ってください。

③ヒーターへの通電を確認してください。
電力量計または本体基板上のヒーター通電灯（スタンダードマイコンタイプの場合）により確認してください。

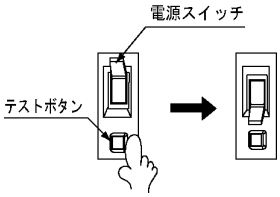
●深夜電力契約の場合は、試運転完了後にタイムスイッチの時刻を現在時刻に戻してください。

⚠警告	アースが接地されていることを確認する。

⚠警告	漏電遮断器の動作確認をする。

漏電遮断器の動作確認

電源スイッチを「入(ON)」にして、テストボタンを押したときに「切(OFF)」になれば正常です。「入(ON)」に戻してください。



■スタンダードマイコンタイプ片面基板(茶色の基板)の場合の注意事項

●通電開始後、すぐにはヒーターに通電しない場合があります。マイコン部品に充電されるまで通電を継続し、３～１０分程度経過後に確認してください。

●通電制御機能により、通電開始後約１０分経過してもヒーターに通電しない場合があります。（ピークシフト運転のため）
この場合以下のいずれかの操作をすればヒーター通電が開始されます。

a)一旦電源を「切(OFF)」にし、１０秒程度待って電源スイッチを「入(ON)」にしてください。

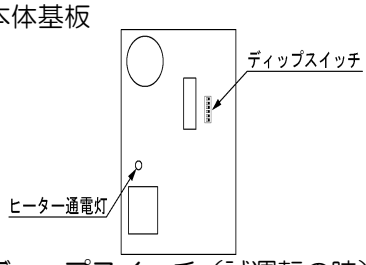
b)本体基板上のディップスイッチの「５」を「ON」へスライドさせてください。
※試運転後は必ず元の位置に戻してください。

●「深夜電力」で使用する場合は、ディップスイッチの「４」を必ず「OFF」にしてください。

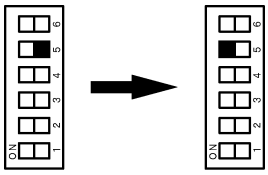
●「時間帯別電灯契約」で使用する場合は、ディップスイッチの「４」を「ON」のままで、別売リモコン（BER-3A/BERT-3A）を接続してください。

スタンダードマイコンタイプ
片面基板(茶色の基板)の場合

●本体基板

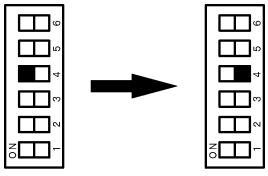


●ディップスイッチ（試運転の時）



※試運転後、必ず元の位置に戻してください。

●ディップスイッチ（深夜電力の時）



■スタンダードマイコンタイプ両面基板（緑色の基板）の場合の注意事項

●通電開始後、すぐにはヒーターに通電しない場合があります。マイコン部品に充電されるまで通電を継続し、３～１０分程度経過後に確認してください。

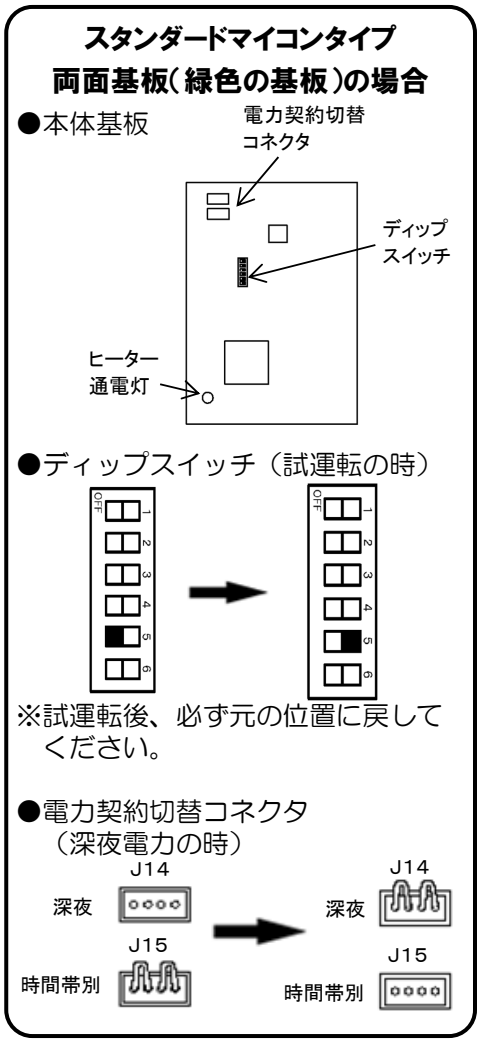
●通電制御機能により、通電開始後約１０分経過してもヒーターに通電しない場合があります。（ピークシフト運転のため）
この場合以下のいずれかの操作をすればヒーター通電が開始されます。

a)一旦電源を「切(OFF)」にし、１０秒程度待って電源スイッチを「入(ON)」にしてください。

b)本体基板上のディップスイッチの「５」を「ON」へスライドさせてください。
※試運転後は必ず元の位置に戻してください。

●「深夜電力」で使用する場合は、電力契約切替コネクタを「深夜」（Ｊ１４）に差し替えてください。

●「時間帯別電灯契約」で使用する場合は、電力契約切替コネクタを「時間帯別」（Ｊ１５）のままで、別売リモコン（BER-3A/BERT-3A）を接続してください。



9-5 正常動作の確認とお客様への説明

取扱説明書を使用して、下記の確認を進めながらお客様に説明してください。

①各混合水栓を開いて流量が十分あるか確認してください。お湯の使いはじめは必ずお湯の温度を指先などで確かめていただくようお願いしてください。

②別売リモコン(BER-3A/BERT-3A)をご使用の場合、リモコンの動作を確認してください。
リモコン設定項目を、お客様と相談して適切に設定してください。

③現地施工の電気温水器専用止水栓の位置と操作方法を説明してください。また、断水時には機器保護のため電気温水器専用止水栓を閉じるようお願いしてください。

④逃し弁の機能と点検方法を実際に行って説明してください。

⑤漏電遮断器の動作確認方法を実際に行って説明してください。

⑥工事説明書に基づいた工事が原則ですが、据付条件などにより異なる点が生じた場合はそのポイントを説明してください。

⑦配管のネジ切りなどに油を使用した場合、しばらくの間、混合水栓から油やよごれが出る心配があります。その旨を説明してください。

⑧本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4 年に一度、専門技術者による定期点検を実施していただくようお願いしてください。

⑨断水時はお湯も水も出ない旨を説明してください。

■お願い

●取扱説明書、工事説明書および保証書は、必ずお客様にお渡しし、保管をお願いしてください。

●試運転後、すぐに使用しない場合は、電気温水器の電源スイッチと元電源ブレーカーを「切(OFF)」にし、タンクの水を抜いてください。

●凍結のおそれのある地域では、据え付けから入居まで期間がある場合でも電源スイッチを切らないでください。電源を入れておくことができない場合は、「10.水抜き要領」にしたがって、タンク内の水を抜いてください。

10. 水抜き要領

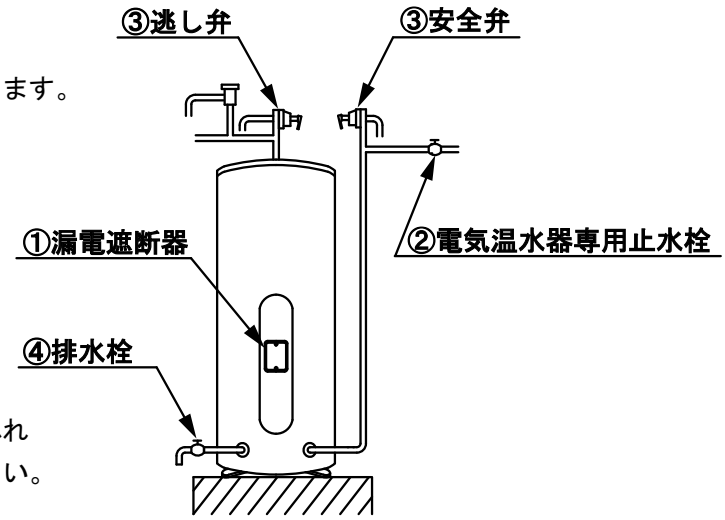
１か月以上、電気温水器を使用しないときは運転を止め、タンクの水を抜きます。
なお、凍結のおそれがある場合は、お買い上げの販売店、工事店に依頼をして完全な水抜きを行ってください。本ページの水抜きでは配管に水が残り、凍結を防止できません。

10-1 台所などの混合水栓を開く

①ぬるい水が出てくるまで開いておきます。
タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

10-2 タンクのお湯を排水する

①漏電遮断器のスイッチを「切(OFF)」にする。
②電気温水器専用止水栓を閉じる。
タンクへの給水を止めます。
③逃し弁・安全弁のレバーを上げる。
④排水栓を開く。
タンクの水を排水します。排水口から水があふれないように排水栓の開き具合を調整してください。
※排水には約３０分～１時間かかります。



10-3 排水栓を閉じる

排水栓から水が出なくなったら、排水栓を閉じてください。

10-4 逃し弁・安全弁のレバーを下げる

タンク内温度が常温に戻ってから逃し弁・安全弁のレバーを下げてください。
※タンク内の温度が高い状態で逃し弁・安全弁のレバーを下げた場合、負圧によりタンクが破損するおそれがあります。

お願い

・水抜き終了後、「排水栓」が閉じていることを確認してください。
・凍結のおそれの高い地域は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。

⚠ 注意

タンク破損のおそれあり

・必ずタンク内温度が常温に戻ってから逃し弁・安全弁のレバーを下げてください。

⚠ 警告

やけどのおそれあり

やけど注意

・高温の湯を排水することがあります。

～MEMO～

チェックリスト

据付工事後は、下表に記載したチェック項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず是正してください。（機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません）

据付け環境

判定		工事説明書記載ページ
□	①水道水を使用していますか（井戸水は使用不可）	1
□	②給水圧力は 0.15MPa 以上ありますか	10
□	③据付場所は雨や雪が降ったとき水につかったり、積雪で埋もれたりする場所ではありませんか	5

据付け状態

□	①電気温水器の脚がアンカーボルトで正しく固定されていますか	6
□	②床面は電気温水器が満水時の重量に十分耐えますか	5
□	③電気温水器のメンテナンススペースが確保されていますか	5
□	④火気・引火物・可燃性ガスは近くにありませんか	5
□	⑤据付床面の防水、排水工事はしてありますか	1,8
□	⑥２階以上へ設置の場合、転倒防止の為に上部は固定してありますか	7
□	⑦外板に傷、変形はないですか	－

配管のチェック

□	①電気温水器専用止水栓は給水配管で操作の容易な位置に取り付けられていますか	10
□	②減圧弁、逃し弁、安全弁は下記の指定のものが取り付けられていますか	2
	減圧弁　呼び径　20A、　設定圧力　80ｋPa	
	逃し弁　呼び径　20A、　吹き出し圧力　95ｋPa　または 97ｋPa	
	安全弁　呼び径　20A、　吹き出し圧力　120ｋPa	
□	③電気温水器と逃し弁の間に閉止弁は取り付けられていませんか	－
□	④排水口空間（50㎜ 以上）を確保していますか	10
□	⑤給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか	9
□	⑥排水管材は 90℃の温度に十分耐えるものですか	9
□	⑦接続部から水漏れはありませんか	15
□	⑧凍結防止・保温工事は適切ですか（各配管に凍結防止ヒーター・保温材は巻いてありますか）	12
□	⑨配管は風雨、直射日光に対する防護がしてありますか	－
□	⑩逃し弁のレバーを手で開閉し、放水､止水が正常ですか	16
□	⑪全ての給湯栓と混合水栓をひらいて各蛇口からきれいな水が出るのを確認しましたか	－
□	⑫各配管は指定された配管径、配管長になっていますか	9
□	⑬配管途中に無理な配管によるツブレ、曲がりはありませんか	－
□	⑭シャワーはサーモスタット付のものが使用されていますか	1

電気工事のチェック

判定		工事説明書記載ページ
□	①電源は単相 200V ですか	13
□	②電力会社との契約は時間帯別電灯契約または深夜電力契約になっていますか	13
□	③電線(ケーブル)の太さは適切ですか	13
□	④200V 電源ブレーカーは取り付けてありますか	13
□	⑤200V 電源ブレーカーの定格は十分ですか	13
□	⑥200V 端子台のねじは確実に締め付けてありますか	–
□	⑦アース(接地)工事はD種接地工事が行なってありますか	13
□	⑧漏電遮断器の動作確認はしましたか	16
□	⑨リモコンケーブルの接続は確実ですか(別売リモコン接続時)	–
□	⑩リモコンケーブルは電源電線に交差、近接していませんか(別売リモコン接続時)	–

その他のチェック

□	①電気温水器を満水にしましたか	15
□	②電気温水器周辺や配管からの水漏れはないですか	15
□	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いた時、排水があふれ出ることはないですか	–
□	④正常に沸き上げることを確認しましたか	15
□	⑤電力契約モードの設定(ディップスイッチ切替またはコネクタ差し替え)はしましたか	15、16
□	⑥湯水混合栓からの流量は十分ですか	16
□	⑦漏電遮断器は切りましたか (試運転完了後、すぐに入居しない場合など。ただし、凍結の恐れのある場合は除く。)	16
□	⑧試運転完了後、すぐに使用しない場合は電気温水器の水抜きを行ないましたか	16
□	⑨お客様への取扱い説明、リモコンの各種設定(別売リモコン接続時)を実施しましたか	–

＜販売店、工事店様記入＞

店名		電話番号		担当者名	

BE-L30E
BE-L37E
BE-L46E
BE-S30E
BE-S37E
BE-S46E　Ⓐ
BE-L30EM
BE-L37EM
BE-S30EM
BE-S37EM